

天満橋駅(地下鉄谷町線)②

天満橋から北浜へ

天満橋駅(京阪本線・中之島線) 北浜駅(地下鉄堺筋線・京阪本線)
なにわ橋駅(京阪中之島線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.049



地下鉄・京阪天満橋駅

①八軒家浜

- 平成20年(2008)、八軒家浜船着場が現在の場所に整備され、都心の水辺スポットになっています。

②八軒家船着場跡碑

- 江戸時代、天満橋と天神橋に挟まれた大川の南岸が八軒家と呼ばれました。熊野詣の陸の起点として、京都と大阪を結ぶ三十石船の発着場として賑わった八軒家浜船着場は、このあたりにありました。

③熊野街道道標

- 熊野詣は京都から船に乗り、八軒家浜を経由して熊野に向きました。道標の建っている所が熊野街道の入口で、御誠筋を南下します。すぐ近くにあった窪津王子で最初にお祓いを受けて出発したことから、その名がついたといわれています。

④前島密像

- 前島密は郵便の仕組みをつくった人です。当地は紀州藩蔵屋敷跡です。



⑤高麗橋・里程元標跡

- 天正14年(1586)、大坂城の外堀である東横堀川に架けられました。江戸時代は、大坂城と船場

- を結ぶ橋として重要視されました。明治になって東詰に里程元標が置かれ、諸国への距離を測る起点となりました。欄干の擬宝珠や西詰にあった櫓屋敷をモチーフにした親柱が、橋の歴史を伝えています。

⑥花外楼(大阪会議開催の地)

- 政治の混迷を極める明治8年(1875)、大久保利通、木戸孝允、板垣退助らが、政治の改革を論議し、日本の立憲政体の基礎を確立しました。これが世にいう「大阪会議」です。会議の成功を祝して、木戸孝充が舞台となった料亭「加賀伊」を「花外楼」と改名しました。東隣のビルの壁面に会議に参加した5人のレリーフが掲げられています。

⑦北浜レトロ

- 明治45年(1912)に建てられたレンガ造りの小さな洋館は、国の登録有形文化財。中之島公園や北浜の風景を眺めながら、本格的な英国紅茶が楽しめます。

⑧大阪証券取引所・五代友厚像

- 北浜のランドマーク、大阪証券取引所ビルは、平成16年(2004)に建て替えられましたが、列柱が並ぶドームのエントランス部分は旧市場館の外観を踏襲しています。正門正面には、明治11年(1878)に大阪株式取引所が設置されるとき发起人であり、大阪財界の基礎を築いた五代友厚の立像が建っています。



⑨難波橋

- 最初の難波橋は8世紀初めに行基によって架けられたといえます。天岡均一作のライオン像が阿吽の口形で左右にあり、ライオン橋とも呼ばれます。

地下鉄・京阪北浜駅

